

## 県内商工会地域を取り巻く景気動向について

(中小企業景気動向調査結果：4～6月期実績、7～9月期見通し)

福井県商工会連合会

調査概要：この調査は、商工会の経営指導員による訪問面接調査により、福井県内商工会地域の中小企業の経済動向について、四半期ごとに収集・分析して提供することにより、経営改善普及事業の効果的な実施に資するもの。

今回の調査は、6月1日時点の動向について、県内の商工会会員事業所165社を対象に実施し、164社から回答を得た。

### 今期(平成23年4～6月期)の実績および来期(7～9月期)の見通し

**業況は全体としてやや悪化するも来期には改善傾向示す。  
特に製造業・建設業は、業況・採算ともに改善する見通し。**

#### ・業況

4～6月の業況DI値(前年同期との比較で、増加・好転とした企業から減少・悪化とした企業の割合を引いた値。単位:ポイント)は、全体で悪化(マイナス5.0ポイント)した。業種別では小売業が僅かながら好転したものの業況DI値はマイナス41.7ポイントと依然として低水準となっており、また、他の業種については悪化(製造業マイナス13.5ポイント、建設業マイナス2.6ポイント、サービス業マイナス5.9ポイント)している。

7～9月の業況見通しは、全体で4.4ポイント改善した。特に製造業(12.5ポイント)および建設業(14.4ポイント)が改善傾向が大きく、また、小売業も僅かながら改善(2.0ポイント)する見通し。サービス業はやや悪化(マイナス3.5ポイント)となっており3期連続で悪化する見通し。

#### ・売上高

4～6月の売上高は、全体で減少(マイナス9.1ポイント)傾向となった。業種別では建設業が大幅に増加(18.1ポイント)傾向となった以外は減少しており、特に製造業(マイナス19.5ポイント)および小売業(マイナス17.7ポイント)の減少傾向が強く、サ

ービス業はマイナス 6.0 ポイントとなった。

7～9月の売上高見通しは、全体で今期と同レベル(±0)となる見通し。業種別では製造業(8.7 ポイント)およびサービス業(4.0 ポイント)で増加する見通しとなっており、建設業(マイナス 20.8 ポイント)および小売業(マイナス 1.1 ポイント)で減少する見通しとなっている。

#### ・採算

4～6月の採算状況はやや悪化(マイナス 2.9 ポイント)となった。業種別では小売業がやや好転(0.9 ポイント)した以外は全業種で悪化しており、特に製造業が悪化(マイナス 9.8 ポイント)の傾向が強い。また採算の水準は、全体では黒字 12.3%に対して赤字 38.3%となり、業種別では製造業が2極化の傾向(黒字 27.0%に対して赤字 29.7%)、他の業種では赤字傾向となっており、特にサービス業は 46.0%が赤字となった。7～9月の見通しは、全体として横ばいながら改善(0.6 ポイント)する見通し。業種別では製造業(5.4 ポイント)および建設業(12.5 ポイント)が改善、小売業(マイナス 6.9 ポイント)およびサービス業(マイナス 1.2 ポイント)が悪化する見通しとなっている。

#### ・資金繰り

4～6月の資金繰りの状況は全体としてやや悪化(マイナス 1.2 ポイント)となっている。業種別では製造業が改善(11.1 ポイント)した他は悪化(建設業(マイナス 7.8 ポイント)、小売業(マイナス 5.9 ポイント)、サービス業(マイナス 2.1 ポイント))している。7～9月の見通しは、全体として悪化(マイナス 7.6 ポイント)となっている。業種別では建設業が改善(8.3 ポイント)するとしており、他の業種では悪化するとみている。

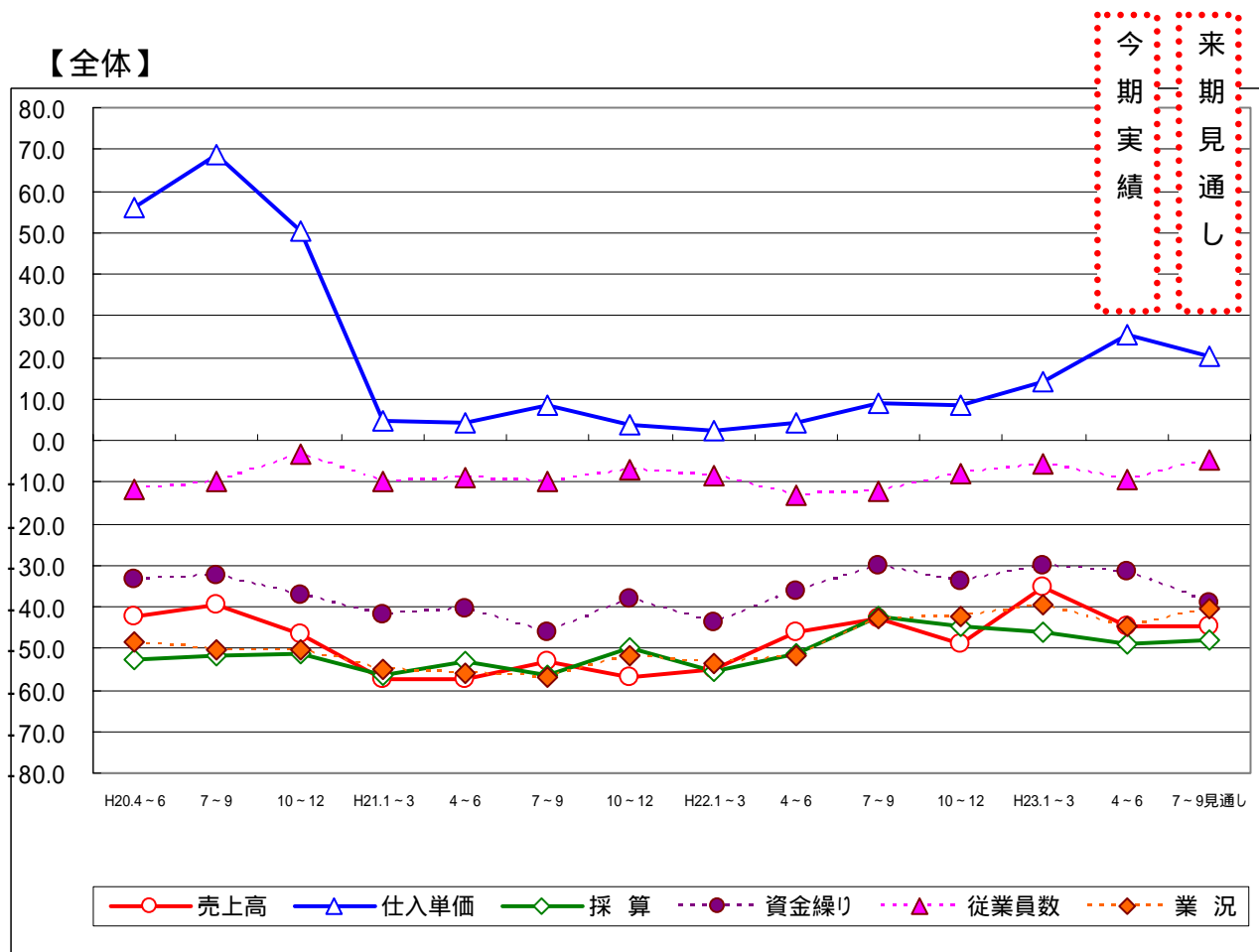
#### ・従業員数

4～6月の従業員数は減少(マイナス 3.8 ポイント)している。従業員数の水準をみると、適正人数であるとしている事業所が全体の 85.8%を占め、過剰となっている事業所(6.8%)と不足している事業所(7.4%)はほぼ同数となっている。7～9月には生産活動が回復する見通しであることから、雇用状況は次第に活発になるとと思われる。

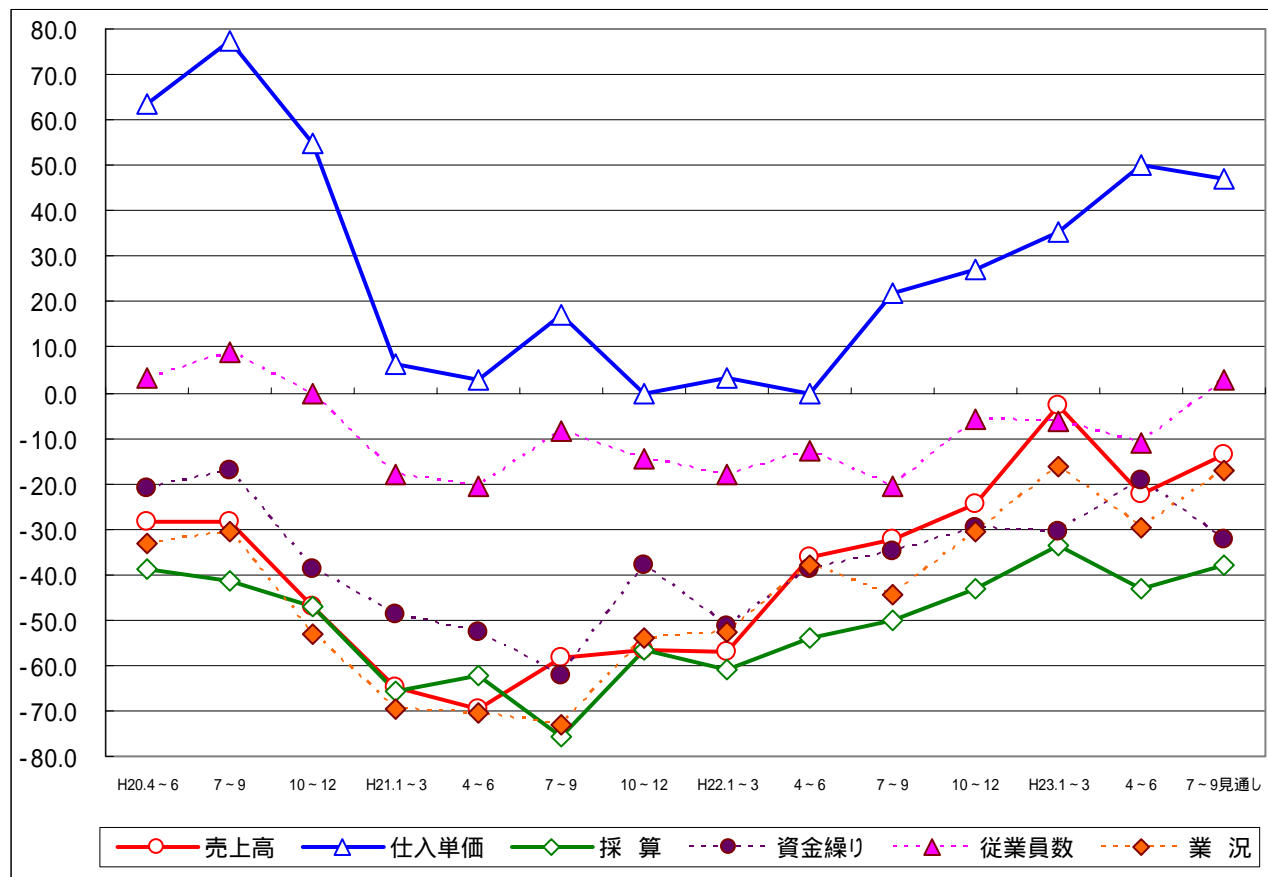
#### ・その他(設備投資関連)

4～6月に設備投資を実施した企業は全体の 5.2%にとどまったが、7～9月には 9.7%が設備投資を計画しており、投資活動に改善の兆しがみられる。特に製造業(16.2%)およびサービス業(14.9%)は投資意欲が高くなっている。

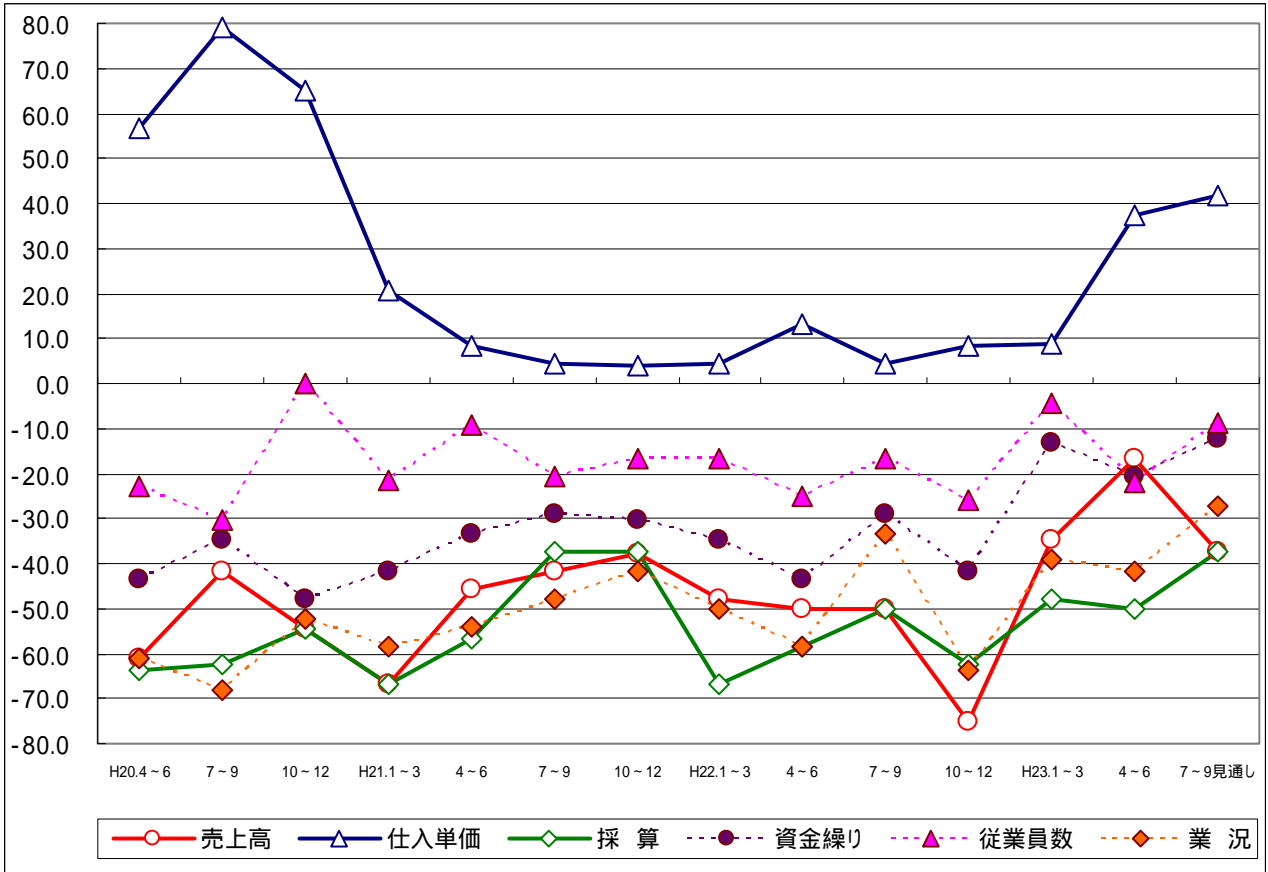
【全体】



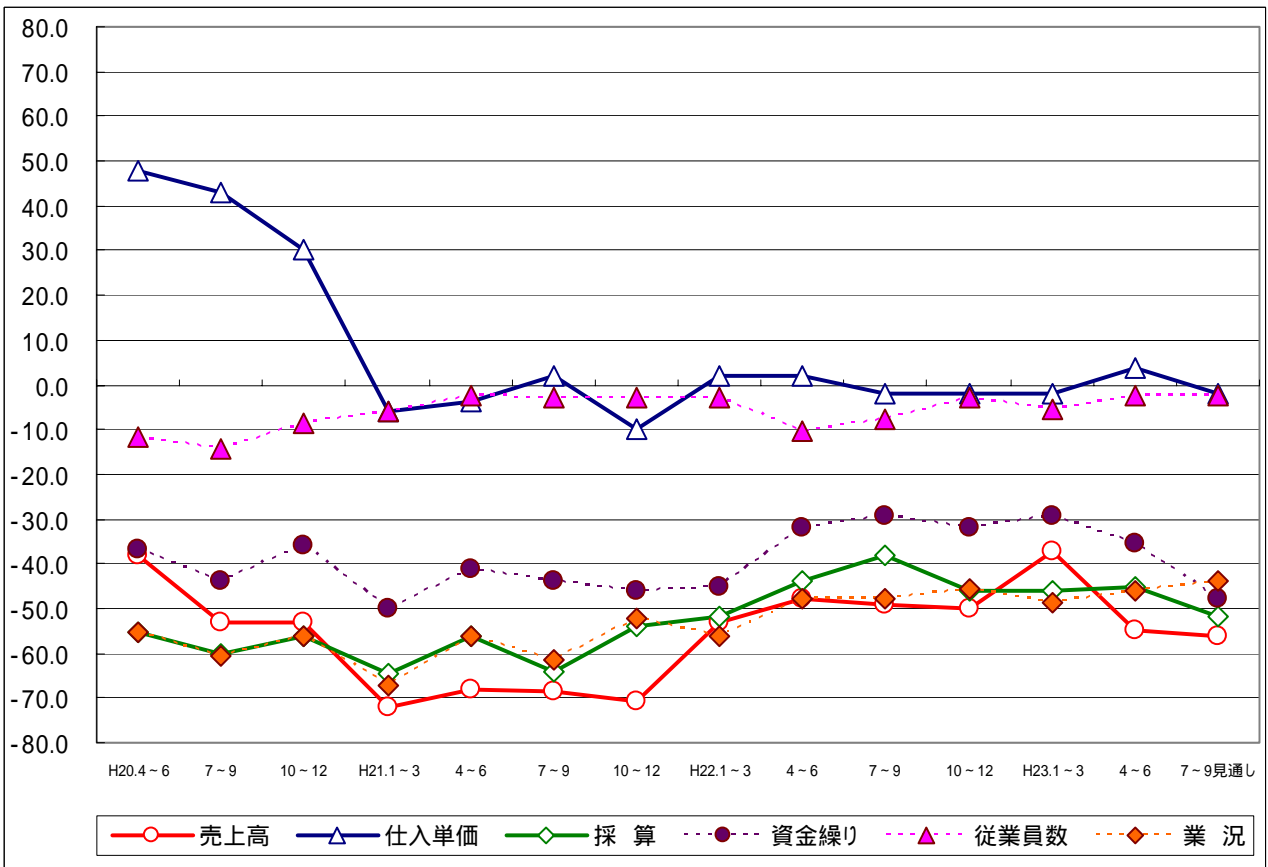
【製造業】



### 【建設業】



### 【小売業】



# 【サービス業】

